

公益社団法人 日本水産学会
令和3年度第4回理事会議事録

1 開催された日時 令和3年7月3日(土)13時00分～14時40分

2 開催された場所 日本水産学会事務局(東京都港区港南4-5-7)

3 理事総数及び定足数

総数 17名, 定足数 9名

4 出席理事総数 15名

(Web会議システムによる出席)

金子豊二、吉崎悟朗、潮 秀樹、八木信行、廣野育生、山下 洋、
中田 薫、横山芳博、佐野元彦、越塩俊介、木村暢夫、落合芳博、
平塚聖一、野田幹雄、大嶋雄治

5 出席監事

(Web会議システムによる出席)

杉田治男、舞田正志、野澤知世

6 出席幹事

(Web会議システムによる出席)

横田賢史、團 重樹、澤山英太郎、長阪玲子、壁谷尚樹、小山寛喜

7 オブザーバー

(Web会議システムによる出席)

清水宗敬(令和3年度秋季大会総務)

8 議案

決議事項

- | | |
|--------|---------------------------|
| 第1号議案 | 「令和3年度秋季大会の募金目論見書」の件 |
| 第2号議案 | 「令和4・5年度支部幹事の定数」の件 |
| 第3号議案 | 「令和3年度支部交付金の配分額」の件 |
| 第4号議案 | 「学会賞授賞規程及び論文賞授賞規程の一部改正」の件 |
| 第5号議案 | 「国際交流委員会の委員追加及び幹事交代」の件 |
| 第6号議案 | 「英文書籍原稿に対する英文校正費の学会負担」の件 |
| 第7号議案 | 「令和4年度秋季大会の日程、場所及び委員長」の件 |
| 第8号議案 | 「令和5年度春季大会担当支部」の件 |
| 第9号議案 | 「令和5年度秋季大会担当支部」の件 |
| 第10号議案 | 「共催」の件 |
| 第11号議案 | 「入会承認」の件 |

報告事項

- ① 第3回理事会以降の職務執行状況
- ② その他確認事項

9 議事の経過及びその結果

(1) 定足数の確認等

金子会長が定足数の充足及びWeb会議用装置からなるWeb会議システムにより、

出席者の音声、映像が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同等に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認した。続いて本会議の議事進行について説明があった。

(2) 令和3年度秋季大会の準備状況の報告

清水大会総務担当から令和3年9月13日（月）から16日（木）まで北海道大学函館キャンパスにて開催予定の令和3年度秋季大会の準備状況についての報告があった。

本件について以下の質疑があった。

金子会長「大会への参加申し込み締め切りは7月23日となっているが、現時点では当日参加は認めないと考えて良いか。」

清水大会総務担当「当日参加は認めない方針である。当日参加を認めると大会への参加人数を正確に把握できず、感染症対策に支障が出る恐れがあるためである。」

金子会長「参加申し込み期限後に大会が中止になると、発表を行わない者は参加費を支払っただけになる。この点については如何か。」

清水大会総務担当「難しい問題ではあるが、そのような可能性もあることを承知した上で参加登録をして頂きたい。」

吉崎理事「特別講演については大会が中止になった場合でも開催するということが、聴講者は大会への参加者に限られるのか。」

清水大会総務担当「聴講者は大会への参加者のみではなく、水産学会員とする予定である。また、大会が行われる場合でもWeb中継を予定している。聴講者を大会への参加者に限定するという案については今後検討したい。」

吉崎理事「承知した。」

金子会長「現時点での登録者数は如何ほどか。」

清水大会総務担当「まだ確認はできていないので、適宜確認を行いたい。」

金子会長「宜しく願いしたい。」

(3) 議案の審議状況及び議決結果等

定款の規定に基づき、金子会長が議長となり、本会議の成立及びWeb会議システムを用いて開催する旨宣言し、議案の審議に移った。

（決議事項）

第1号議案 「令和3年度秋季大会の募金目論見書」の件

廣野総務担当理事から、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

第2号議案 「令和4・5年度支部幹事の定数」の件

廣野総務担当理事から、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案の通り可決した。

第3号議案 「令和3年度支部交付金の配分額」の件

廣野総務担当理事から、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案の通り可決した。

本件について以下の質疑があった。

佐野理事「令和3年度支部交付金の配分額（案）の表において、正会員数Nが2,711となっているが、2,651が正しいので修正をお願いしたい。」

金子会長「Nの値の修正により金額に変更はないか。」

佐野理事「金額は正しいので、変更の必要はない。」

第4号議案 「学会賞授賞規程及び論文賞受賞規程の一部改正」の件（別紙1）

廣野総務担当理事から、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で別紙の通り可決した。

第5号議案 「国際交流委員会の委員追加及び幹事交代」の件

廣野総務担当理事から、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で以下の通り可決した。

委員

[選出] 石川智士、阪倉良孝、筒井繁行

幹事

[退任] 筒井繁行 [選出] 古川史也

第6号議案 「英文書籍原稿に対する英文校正費の学会負担」の件

佐野財務担当理事から、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案の通り可決した。

本件について以下の質疑があった。

舞田監事「学会からの依頼による出版の際に英文校正費を学会が負担するということがあったが、企画が持ち込まれた場合においても学会が負担するのか。」

金子会長「この点に関しては、まだ十分な検討を行ってはいないが、全額ではないにせよ学会の負担を考えている。」

佐野理事「学会として支援をしても良いと考えている。」

舞田監事「今後、検討して頂きたい。」

第7号議案 「令和4年度秋季大会の日程、場所及び委員長」の件

廣野総務担当理事から、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案の通り可決した。

第8号議案 「令和5年度春季大会担当支部」の件

廣野総務担当理事から、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で令和5年度春季大会は関東支部が担当することで可決した。

第9号議案 「令和5年度秋季大会担当支部」の件

廣野総務担当理事から、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で令和5年度秋季大会は東北支部が担当することで可決した。

第10号議案 「共催」の件

廣野総務担当理事から、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で以下の共催を可決した。

① 日本海洋学会主催ナイトセッション

「国連海洋科学の10年 市民と団体の協働に向けて」

主 催 日本海洋学会

共 催 日本海洋政策学会

日 程 2021年9月13日

開催方法 オンライン開催

希 望 共催

負担金 なし

第11号議案 「入会承認」の件

廣野総務担当理事から、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案の通り可決した。

(報告事項)

① 第3回理事会以降の職務執行状況

・会長

金子会長から、以下の報告があった。

1) 6月11日にオンラインで開催された水産・海洋科学研究連絡協議会について以下の報告があった。

Frontiers in Marine Science 特集号の原稿募集のタイトルのなかに“East Sea (Japan Sea)”との表記があり、この件について水産・海洋科学研究連絡会の議長名で異議を申し立てた結果、タイトルから“East Sea”が削除され、“East Asian marginal sea”に変更された。ただし、本文中には“EJS”の表記がある。

2) 7月7日にイギリス諸島水産学会の大会及び総会がオンラインにて開催予定であることが報告された。

3) 日本海洋学会の創立80周年の記念シンポジウムが開催されることが報告された。また、9月13日に開催されるパネルディスカッションへのパネラーとしての参加依頼を受けたが、日本水産学会秋季大会と同日であるため保留としていることが報告された。

・庶務関係

廣野担当理事から、以下の報告があった。

1) 令和3年度支部幹事の変更について、以下の通り報告があった。

北海道支部 黒川忠英 [退会] 渡辺研一 [選出]

中部支部 乙竹 充 [関東支部へ異動] 吉川 尚 [選出]

中部支部 吉松隆夫 [退会] 細井公富 [選出]

中国・四国支部 吉田吾郎 [九州支部へ異動] 関 伸吾 [選出]

九州支部 虫明敬一 [退会] 井口恵一朗 [選出]

九州支部 山本 淳 [退会] 立原一憲 [選出]

本件について以下の質疑があった。

金子会長「支部幹事は選挙で選出されるが、幹事の変更については繰上げ当選となるのか。」

大嶋理事「九州支部では、選挙で次点の者を繰上げ当選とした。」

金子会長「承知した。」

2) 令和3年度各種委員会委員長及び副委員長の決定について報告があった。

本件について以下の質疑があった。

金子会長「一は副委員長なしという意味か。」

廣野理事「そうである。」

金子会長「水産学若手の会は正式名称か。」

廣野理事「正式名称は水産学若手の会委員会である。」

金子会長「承知した。」

3) 学会事務職員期末手当についての報告があった。

4) 内閣府へ事業報告及び決算報告の提出についての報告があった。

5) 学会事務局の夏季休暇についての報告があった。

6) 以下の協賛について、共催、協賛、後援の取り扱いの申し合わせ 3) を適用したとの報告があった。

① 2021 年度日本冷凍空調学会年次大会

主 催 日本冷凍空調学会

協 賛 エネルギー・資源学会 他 34 団体

日 程 2021 年 9 月 8 日～10 日

開催方法 オンライン開催

希 望 協賛

負担金 なし

・企画広報関係

吉崎担当理事から、5月24日に第2回企画広報委員会が開催されたことが報告された。「水産化学の分野で活躍する女性たち」の企画は、今後、若手の人材を紹介する企画に変更することが報告された。

・財務関係

佐野担当理事から、シュプリンガーからの Fisheries Science 86 巻ロイヤリティの振込金額についての報告がされた。

・編集関係

廣野担当理事から、以下の報告があった。

1) Fisheries Science 誌の 2020 年度インパクトファクターについての報告がされた。

2) 論文賞選考申合せ改正案についての報告がされた。

3) プレプリント公開論文の受付についての検討が行われていることが報告された。

4) 日本水産学会誌と J-STAGE Date の連携についての検討が行われていることが報告された。

5) 日本水産学会誌及び Fisheries Science 誌掲載論文のフォーマットについての検討が行われていることが報告された。

6) オープンアクセスの総説を北海道大学の荒井克俊会員及び JIRCAS のマーシー・ニコル・ワイルダー会員に執筆して頂くことが報告された。

7) 論文賞の受賞者への海外送金について議論されていることが報告された。

落合担当理事から、Fisheries Science 誌掲載論文の取り下げ申し立てについての経過報告があり、査読には問題が無いことが報告された。今後は、告発者と責任著者の所属機関において倫理的問題点を明らかにした上で、改めて申し立てを受ける状況であることが報告された。

本件について以下の質疑があった。

金子会長「掲載論文の取り下げ申し立てについては、大変な状況になってはいないか。」

落合理事「先方に一任している状況であり、何かしらの連絡があれば、改めて対応を検討する。」

金子会長「承知した。」

・学会賞関係

山下担当理事から、以下の報告があった。

1) 5月28日締切りで日本農学進歩賞授賞候補者の推薦募集を行った結果、1名の応募があった。また、学会賞選考委員会の内規に従い、過去2年間の水産学奨励賞授賞者のなかで日本農学進歩賞の応募基準を満たす者で辞退者を除外したところ、候補者は4名となった。6月18日を締切りとする選考委員による投票の結果、3名の候補者が同票であったため、7月5日を締切りとする決戦投票を行っていることが報告された。

2) 日本水産学会各賞の推薦募集及び日本農学賞の推薦募集を7月31日締切りでやっていることが報告された。

3) 文部科学大臣表彰科学技術賞、若手科学者賞、研究支援賞及び民間の表彰の2件について、学会の推薦募集を行っていることが報告された。

・シンポジウム関係

落合担当理事から、秋季大会にて1件のシンポジウムが行われることが報告された。

・出版関係

大嶋担当理事から、e-水産学シリーズの企画案として3件が検討されていることが報告された。

・水産技術誌監修関係

中田担当理事から、企画編集委員会が5月下旬にメール会議で開催されたこと及び編集事務を一般社団法人全国水産技術協会に委託することが報告された。また、今年度第1号については6編すべて掲載可であること、及び新たに5編以上が査読終了したときに第2回編集委員会を開催することが報告された。

・国際交流関係

越塩担当理事から、6月8日に開催された第1回国際交流委員会についての報告があった。また、世界水産学協議会の役員改選が行われること、会長及び副会長の推薦は8月15日までであることが報告された。副会長として佐藤秀一会員を推薦する方針であるが、佐藤会員は現在も副会長のため、協議会の規程に基づき副会長の再任には会長の指名が必要となる。したがって、会長を推薦するアメリカ側との調整が必要となることが報告された。

・水産教育関係

山下担当理事 特になし

・水産政策関係

八木担当理事 特になし

・漁業・資源管理関係

金子会長 特になし

- ・水産利用関係

横山担当理事 特になし

- ・水産増殖関係

佐野担当理事から、秋季大会で第2回の講演会を予定していることが報告された。

- ・水圏環境関係

野田担当理事から、沿岸環境関連学会連絡協議会ジョイントシンポジウムにおいて東日本大震災復興のリレーシンポジウムの最終回が5月25日にオンライン配信されたことが報告された。

- ・男女共同参画関係

中田担当理事から、秋季大会ではセミナーなどは実施せず、オンラインにて今後の方針を打ち合わせる予定であることが報告された。

- ・水産学若手の会関係

潮担当理事から5月27日に第3回若手の会が開催されたことが報告された。また、企画広報委員会から若手紹介記事の名称についての問い合わせがあり、原案を提出したことが報告された。

- ・社会連携関係

横山担当理事 特になし

- ・将来計画関係

中田担当理事 特になし

- ・北海道支部、地域連携関係

木村担当理事から、秋季大会にて開催予定であった基調講演を北海道支部主催のSDGsに関する特別講演に変更することが報告された。

- ・東北支部、地域連携関係

落合担当理事から、12月に開催予定の支部大会においてミニシンポジウム及び一般公演を企画していることが報告された。

- ・関東支部、地域連携関係

金子会長から、来年度の春季大会については対面とオンラインの両方において見積りを取っており、情勢を鑑みつつ検討していることが報告された。また、支部幹事会をメール会議にて7月12日から2週間の日程で開催予定であることが報告された。

- ・中部支部、地域連携関係

平塚担当理事 特になし

- ・近畿支部、地域連携関係

廣野理事から、水産のお仕事勉強会について検討を進めていることが報告された。

- ・中国・四国支部、地域連携関係

野田担当理事から、12月4日、5日に例会をオンデマンド方式にて開催予定であることが報告された。

- ・九州支部、地域連携関係

大嶋担当理事から、支部総会及び大会を1月8日に開催することが報告された。また、支部例会は9月4日に開催予定であることが報告された。

・英文書籍監修委員会（特別委員会）

吉崎担当理事から、JIRCASのマーシー・ニコル・ワイルダー会員の企画が提案されており、シュプリンガーのマーケティング部の承認が得られていることが報告された。

・財務検討委員会（特別委員会）

佐野担当理事 特になし

② その他確認事項

(1) 令和3年度選挙の日程

廣野総務担当理事から、令和3年度実施の選挙予定についての説明があった。

(2) 令和3年度決算処理日程

廣野総務担当理事から、令和3年度事業計画・予算書及び事業報告・決算報告の提出日程についての説明があった。

(3) 次回の理事会について

廣野総務担当理事から、次回の理事会は令和3年9月18日（土）13時からWeb会議システムにて開催するとの説明があった。

以上をもってWeb会議システムを用いた会議は、終始異状なく議案の審議等を終了したので、14時40分、議長は閉会を宣言し、解散した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した議長（代表理事）及び監事は記名押印する。

令和3年7月3日

公益社団法人 日本水産学会
議長 会長（代表理事）

監 事

監 事

監 事